

決算特別委員会

Q & A

Q 人件費が増加し、歳出全体の18.9%を占めているが、何%に抑えるというような指標はないのか。

A 町では、職員数を適正に管理するため、定員管理計画を策定しており、その中で今後10年間の人員の配置について位置づけていますので、計画に基づき適正化を推進していきます。

Q 茨城空港利用促進等協議会へ負担金を支出しているが、本町のように空港から遠い地域に恩恵はあるのか。

A 現在、観光客の誘致やグローバル化に向け、県を挙げて取り組んでおり、2020年に開催される東京オリンピックでは、本県がサッカー会場になっていることを見据え、全県的に盛り上げて、インバウンド効果を高めていこうということで継続されているものですので、ご理解いただきたい。



Q 町有財産管理事業の中で、雑草等除去に800万円強の委託料を支払っている。これを毎年支出すれば相当な額になるが、防草シートを利用する方法などは考えていないか。

A 防草シートは経年劣化に

よる更新をしなければなりませんので、長期的な面を考慮したうえで、その他手段も含め経済比較をしながら検討していく必要があると考えています。

Q ふるさと応援寄附金のPRは。

A 「サイネックス」「さとふる」「ふるなび」の3社へ委託し募集をしています。寄附金額は、平成28年度が約600万円、平成29年度が2,638万円で、徐々に伸びてきています。



Q 防犯カメラの設置について、どのような計画をしているか。

A 平成28年度から平成31年度までの4カ年で20基を整備する計画で進めています。これまでに、学校・幼稚園付近、通学路に関係した箇所に設置しました。今後は町外から町内へ入ってくるような交通の要所に設置を予定しています。

Q 国保税の滞納者に対するペナルティは。

A 高額療養費等の保険給付が制限されます。医療費が高額になる場合、窓口での支払いを一定額に抑えることができる「限度額適用認定証」の交付を受けられなくなります。

Q 放課後児童健全育成事業で、放課後の小学生を対象に

両保育園でお預かりするということですが、利用人数はどのくらいか。

A 川妻認定こども園は30名、五霞保育園は40名の方が利用しています。

Q 農業経営者の育成を目的に農業経験の浅い方を対象に開催している「農業塾」の成果について、何名の方が受講されているのか。また、どのくらいの方が道の駅へ出荷しているのか。

A 平成29年度の受講者は20名、平成30年度は22名です。現在、10名の方が道の駅へ出荷をしています。

Q 上下水道施設で今後に想定している老朽化対策は。

A 下水道について、具体的な整備計画となるストックマネジメント計画を策定していきます。今後は管渠のカメラ調査や流量の調査を行い、修繕が必要な箇所の特定をしていく予定です。

Q 小学生50冊、中学生30冊という年間の読書量達成率について、小学生が100%に近いのに対し、中学生が50%以下であるという結果ですが、この要因は。

A 中学生は部活動及び勉強が忙しいことと、携帯電話を持つ生徒が増えていますので、SNS等を使用する時間が増えたことなどが挙げられます。

